

2020年度 京都府高等学校体育連盟フィギュアスケート競技会 実施時の感染防止策チェックリスト（参加者向け）

京都府高等学校体育連盟スケート専門部

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（事前に連絡すること）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（移動時や着替え等、活動以外の際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- 各自の飲料水やタオルを持参するとともに、コップやボトルの共用がないようにすること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること（活動前後、活動場所を離れた際等）
- 他の参加者、指導者等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること
- 大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために専門部が決めたその他の措置を遵守し、専門部の指示に従うこと
- 活動前後のミーティング等においても、3つの密（密集・密閉・密接）を避けること
- 事業参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに専門部へ濃厚接触者の有無等について報告すること

参加者が活動を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 運動・スポーツの種類に関わらず、活動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
 - 強度が高い運動の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- （※）感染予防の観点から少なくとも2 mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り：運動時においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、適切に処理すること
- 個人の荷物はできるだけ1つにまとめ、自分で管理すること。自分で持ち歩き、他人の手に触れないようにすること。

2020年度 京都府高等学校体育連盟フィギュアスケート競技会 実施時の感染防止の基本行動（スケート競技向け）

京都府高等学校体育連盟スケート専門部

会場では、選手・監督（引率教員）・コーチ・役員全員がマスクを着用すること。
ただし、選手のアップ中や氷上ではこの限りではない。

会場に入場できるのは、選手1名につき、監督（引率教員）・コーチそれぞれ1名
までとする。保護者及び一般の観覧は、これを認めない。

選手・監督（引率教員）・コーチ・役員は、当日朝に37.5℃以上の発熱があれば、
会場に来場せず自宅待機すること。

受付時に体温を測定し、37.5℃以上の熱があれば出場を認めない。

個人の荷物はできるだけ1つにまとめ、自分で管理すること。自分で持ち歩き、他
人の手に触れないようにすること。

開会式は、選手は集合せず、放送でのアナウンスとする。

閉会式・表彰式は実施しない。賞状・メダルは後日所属高等学校に郵送する。